

船舶事故等調査報告書

平成22年11月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | | |
|----------|---|--|
| 事故等番号 | 2010門第131号 | |
| 事故等種類 | 乗揚 | |
| 発生日時 | 平成22年2月17日 13時20分ごろ | |
| 発生場所 | 鹿児島県十島村東之浜港 平島島頂（243m）から真方位137°800m付近 （概位 北緯29°41.0′ 東経129°32.0′） | |
| 事故等調査の経過 | 平成22年8月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 | |
| 事実情報 | <p>船種船名、総トン数 作業船 ^{よしまる}吉丸、19トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 295-38660鹿児島、吉留建設株式会社</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、一級小型船舶操縦士・特殊・特定</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 船首船底外板にき裂、左舷船尾舵板部材曲損、舵頭軸にねじれ</p> | |
| 事故等の経過 | <p>本船は、船長ほか1人が乗り組み、東之浜港において、船首約1.0m、船尾約2.2mの喫水で、浚渫船を固定するワイヤロープの取り直し作業中、平成22年2月17日13時20分ごろ、船尾船底が岩礁に接触した。</p> <p>本船は浸水、油漏れ等の異常がなかったため作業を続行した。</p> | |
| 気象・海象 | <p>気象：天気 曇り、風向 北東、風力 2</p> <p>海象：平穏、潮汐 下げ潮の末期</p> | |
| その他の事項 | <p>本船は、荒天が予想されたので、ワイヤロープの取り直し作業及び転錨作業を行っていた。</p> <p>東之浜港は、外洋に面しており、うねりが入ってくる港であった。</p> <p>船長は、作業場所が岩礁で囲まれており、水深が浅いことを知っていた。</p> | |
| 分析 | 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析 | <p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、東之浜港で浚渫船を固定するワイヤロープの取り直し作業中、下げ潮の末期で水深が浅くなっており、また、外洋からのうねりで船体が上下動し、船底が岩礁に接触したものと考えられる。</p> |
| 原因 | <p>本事故は、本船が、東之浜港で浚渫船を固定するワイヤロープの取り直し作業中、下げ潮の末期で水深が浅くなっており、また、うねりで船体が上下動したため、岩礁に接触したことにより発生したものと考えられる。</p> | |